

# 「孫の手」作り復活

## 白石 旧白川中と統合の東中

白石市東中で7月27日、孫の手を作る授業があった。2018年度で閉校し、統合された旧白川中が長年続けていた敬老活動。小刀の扱いに苦勞しながらも、約2時間かけて高齢者に贈る孫の手を完成させた。

1年生114人が製作に挑んだ。竹の棒を丁寧に削り、やすりで磨き、糸のこ

で手の部分を加工した。講師役は白川地区のまちづくりに、70代中心の講師陣も奮闘。小刀に苦戦する生徒がいればナタで手助けし、竹を曲げる作業もチームワークで生徒全員分をテンポ良くこなした。小野琢磨さん(75)は「白川中では伝統行事として継承してきたんだ」と感慨深げだった。

芦立稜翔君(13)は完成した孫の手を見つめ、「自分で使いたい気持ちもあるけど、それよりお年寄りの人に使ってもらいたい」と語った。

### 地域の伝統 学校で継承

東中は秋に孫の手を老人会などに贈り、一部を10月の文化祭で展示する予定。

旧白川中で続いていた孫の手作りに励む東中の生徒たち

